

倫理委員会議事録

1. 日時 平成25年12月19日(木) 9:35～ 10:05
2. 場所 応接室
3. 出席者 副院長、統括診療部長、事務部長、看護部長、薬剤科長、管理課長
渡邊神経内科医長
4. 申請者 渡邊 千種
5. 議題 重度神経筋疾患患者の在宅療養における介護状況の調査
—介護者に対するアンケート調査を通して— (申請 6)
6. 記録者 管理課長

議事要旨

<副院長>

議題について申請理由を説明されたい。

<渡邊神経内科医長>・・・申請6 配布資料により説明

目的

- ・在宅療養を行う重度の神経筋疾患患者・介護者の現状を把握し、今後の在宅療養の支援に資する。

審査請求理由

- ・現在、診療を受けている立場の患者の介護者へのアンケートであるので、過度の心的ストレスを与えないか、充分人権が擁護されているか、審査を希望する。また、希少疾患であること、今後結果の公表を予定していることから個人情報十分保護されているか、審査を希望する。

(統括診療部長)

- ・レスパイト入院した者が対象か。外来受診している患者と同じか。外来患者にもアンケートを依頼したらどうなのか。

(渡邊)

- ・ほとんどが外来患者です。今回は、人工呼吸器を使用してレスパイト入院をした方を対象と考えている。どうしたら、支援していけるか、検討する。

統括診療部長の意見は、今後検討させていただきます。

今回は、今までの経緯の中で進めていきたい。

(事務部長)

- ・対象者は何人くらいか。

(渡邊)

- ・40名位です。(重度の患者で、人工呼吸器は10名位)

(事務部長)

- ・当院のレスパイトの方は医療行為はしているのか。

(渡邊)

- ・人工呼吸器、気管切開による吸引などを行っている。

(事務部長)

- ・今の時代にあった研究だと思う。
在宅医療の大竹市事業に参考とする。

(統括診療部長)

- ・3ページの「調査協力をお願い」の「・・・。尚、調査結果は本目的以外には使用致しません。」に、「今後の成果発表に、個人が特定できない状況で使用します。」を追加したらどうか。

(副院長)

- ・対象疾患は？

(渡邊)

- ・ALS、筋ジス、先天性ミエロパチーなど

(副院長)

- ・自分の資料が使われるということへの配慮が必要。

(渡邊)

- ・昨年の発表の流れで調査する。レスパイト入院は、ほぼ全介助が100%。

(事務部長)

- ・亡くなった方の家族にもお願いするのか。

(渡邊)

- ・お願いします。当時の状況を記載していただく。

(副院長)

今回の対応により、個人への直接的な利益、不利益、危険性はないので倫理的には問題はないと思われる。よって、承認としたいが、他の委員の意見はどうか。

《全委員異議なし》

(副院長)

以上、承認判定で院長へ答申する。

(様式 2)

倫理委員会審査判定答申書

平成25年12月20日提出

独立行政法人国立病院機構
広島西医療センター病院長 殿

広島西医療センター倫理委員会
委員長 岩崎 洋一 印

受付番号 6

課題名 重度神経筋疾患患者の在宅療養における介護状況の調査
—介護者に対するアンケート調査を通して—

申請者 渡邊 千種

上記についての諮問に対し、平成25年12月19日の倫理委員会において審議した結果、下記のとおり答申する。

記

1. 判定

①承認

②条件付承認

③不承認

④非該当

2. 理由

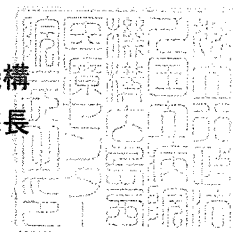
今回の研究は個人が特定されない匿名化情報を対象にしており、人権への不利益はない。この研究により、不利益となることはほとんどない。個人への直接的な利益、不利益、危険性はないので倫理的には問題はないと思われる。

倫理委員会審査判定通知書

平成25年12月20日

申請者 渡邊 千種 殿

独立行政法人国立病院機構
広島西医療センター病院長



受付番号 6

課 題 名 重度神経筋疾患患者の在宅療養における介護状況の調査
—介護者に対するアンケート調査を通して—

代表者名（責任者） 渡邊 千種

平成25年12月16日付で審査の申請があった、上記課題について、下記のとおり判定したので通知する。

記

1. 判 定

①承認

②条件付承認

③不承認

④非該当

2. 理 由

今回の研究は個人が特定されない匿名化情報を対象にしており、人権への不利益はない。この研究により、不利益となることはほとんどない。個人への直接的な利益、不利益、危険性はないので倫理的には問題はないと思われる。